

## 2022年度獣医同窓会 代議員会 議案書

## I. 報告事項

## 1. 学園、大学および獣医類の近況について

## (1) 人事

## 教員の退職

教授	内田 郁夫	(獣医学類 獣医細菌学ユニット)
教授	加藤 敏英	(獣医学類 生産動物外科学ユニット)
教授	大杉 剛生	(獣医学類 実験動物学ユニット)
教授	中出 哲也	(獣医学類 画像診断学ユニット)
教授	北澤 多喜雄	(獣医保健看護学類 動物生命科学ユニット)
教授	菅野 美樹夫	(獣医保健看護学類 動物医療学ユニット)
准教授	川本 哲	(獣医学類 生産動物内科学ユニット)
嘱託助手	富田 彬正	(獣医学類)
嘱託助手	八重樫 里菜	(獣医学類)

## 教員・職員の新規採用

教授	秋庭 正人	(獣医学類 獣医細菌学ユニット)
助教	村上 高志	(獣医学類 生産動物外科学ユニット)
助教	出口 辰弥	(獣医学類 伴侶動物内科学ユニット)
助教	中村 達郎	(獣医学類 獣医薬理学ユニット)
助教	藤本 政毅	(獣医学類 実験動物学ユニット)
助教	尾針 由真	(獣医学類 医動物学ユニット)
助教	松山 亮太	(獣医学類 獣医疫学ユニット)
助教	山本 集士	(獣医学類 伴侶動物外科学ユニット)
嘱託教授	大谷 新太郎	(獣医学類 生産動物医療学)
嘱託助手	長谷川 寧々	(獣医学類 伴侶動物医療学)
嘱託助手	蘇武 なつみ	(獣医学類 生産動物医療学)
嘱託助手	高木 楓	(獣医学類 感染・病理学)

## 教員の昇格

教授	高橋 優子	(獣医保健看護学類 動物と人の関係学ユニット：元准教授)
教授	能田 淳	(獣医保健看護学類 動物と人の関係学ユニット：元准教授)
教授	郡山 尚紀	(獣医保健看護学類 動物と人の関係学ユニット：元准教授)
准教授	内田 玲麻	(獣医学類 人獣共通感染症学ユニット：元講師)
講師	守屋 大樹	(獣医学類 獣医生理学：元助教)
講師	佐藤 綾乃	(獣医学類 生産動物外科学ユニット：元助教)
講師	田村 昌大	(獣医学類 伴侶動物内科学ユニット：元助教)

## (2) 第73回獣医師国家試験成績 (別資料①)

## (3) 志願者、入学者状況

獣医学類 全入試区分志願者合計 1,609名 (前年1,064名、志願者前年比151.2%)

合格者366名(前年404名) 入学者124名(前年180名)

獣医保健看護学類 全入試区分志願者合計 241名 (前年210名、志願者前年比114.8%)

合格者123名(前年131名) 入学者79名(前年68名)

循環農学類 206/374名、食と健康学類 56/108名、管理栄養士コース 40/92名

環境共生学類 118/283名 (入学者/志願者)

総計 入学者623名(前年671名) 志願者2,707名(前年2,113名、志願者前年比127.7%)

## 2. 獣医同窓会および校友会について

### (1) 獣医同窓会(URL : <http://rakunovet.jp/>)

#### A. 新入会員 : 27/138 名 (第 53 期生)

#### B. 同窓会会員のご逝去 (2021 年 4 月から 2022 年 3 月までで事務局に連絡を受けたもの)

森村 祐子氏 12 期卒 2021 年 7 月 10 日  
 中村 考 氏 15 期卒 2021 年 7 月 22 日  
 騰川 和彦氏 12 期卒 2021 年 8 月 7 日  
 後藤 忠彦氏 9 期卒 2021 年 8 月 28 日  
 奥本 利美氏 8 期卒 2021 年 9 月 7 日

#### C. 同窓会誌「三愛第 51 号」の発行について

編集長 : 華園 究 (35 期、獣医学類)

HP での公開と三愛ダイジェスト版の発行済

公開 URL : <https://rakunovet.jp/member/books.html> (閲覧はログインが必要です)

#### D. 同窓会誌「三愛 50 周年記念誌」の制作について

編集委員 : 南 繁 (6 期)、加藤 清雄 (5 期)、中出 哲也 (12 期)

製作経緯 : 昨年度「三愛第 50 号」を発刊したが、COVID-19 蔓延初年度であったこともあり、記念特集号を組むなどの検討が十分にできずに「三愛第 51 号」の発刊となった。これまでの同窓会の歩みを改めて紹介し、記念誌として風化させないために「三愛 50 周年記念誌」の制作を執り進めた。2022 年度一般会計予算の事業費・通信費等として計上予定であることから、別途 2022 年度予算案で審議願います。記念誌は 2022 年 7 月 1 日頃、発送予定。

#### E. 第 16 回三愛賞・同窓生の部 授賞式の開催

2021 年 10 月 11 日 15 時～ 動物医療センター本館 2 階大会議室

表彰者 : 要田 正治 (18 期 : 前 JICA 専門員)

参集者 : 酪農学園獣医同窓会役員、顧問、その他 合計 20 名

※三愛 51 号もしくは「<https://rakunovet.jp/archives/2273.html>」で公開

#### F. 支部同窓会 活動状況

COVID-19 蔓延の影響により助成申請無し

#### G. 卒業生への終身会費納入のための案内の実施

2021 年度は全体卒業式後に開催される学類別学位記授与式を卒業生ならびに教員のみの縮小規模で行い、卒業生へのメッセージと三愛ダイジェスト版および振り込み用紙を同封した同窓会費納入のお願いを発送した。

#### H. 同窓会役員体制について

2021 年度第 2 回同窓会理事会において、COVID-19 蔓延により滞った同窓会運営を建て直したうえで次期役員体制に引き継ぐことが了承された。これにより、会長・副会長については延長とした 1 年分を遡り任期 3 年を守る形で残任期間の 2 年間は現体制のまま留任することとなり、2023 年度までの役員体制は以下の通りとなる。

・会長 : 南 繁 (6 期)、副会長 : 中出哲也 (12 期)、廣田 和久 (16 期)

#### I. 理事の就任および交代について

- ・新規 : 53 期 有井美怜 (本学動物医療センター病院獣医師)
- ・**暫定措置** : 52 期 江口亜矢子 (本学獣医学研究科博士課程 2 年)
- ・交代 : 44 期 遠藤ちひろ → 黒川雄介 (ミニイク株式会社)

#### J. 事務担当役員について

2020 年度および 2021 年度の代議員会は COVID-19 蔓延により開催することはできなかった。また、対面での開催は困難であったことから会議開催法を模索し、2020 年度第 1 回獣医同窓会理事会で、代議員会ならびに理事会の開催法として「オンライン会議」が提案され書面会議にて了承された。さらに、滞った同窓会運営を建て直すため「事務局ならびに会計に次長」を置くことが提案され了承された。

#### (2) 交友会(<https://kouyukai.rakuno.org/>)、学園同窓会(<https://rakuno.org/>)

##### A. 機関誌の発行

- ・学園同窓会：「同窓会通信 68-70 号」の発行(<https://rakuno.org/archives/newsletter>)
- ・同窓会交友会：「交友会会報 No.28」の発行(<https://kouyukai.rakuno.org/archives/newsletter>)

##### B. ホームカミングデー

- ・2021 年度は COVID-19 蔓延の影響により中止

#### 3. その他

## II. 審議事項および協議事項

### 1. 2021 年度収支決算および監査報告について（別資料②）

会計局長の内田氏、監事の吉田氏より 4 月 19 日監査を受けた。

### 2. 会則の改正（別資料③）

### 3. 2022 年度事業計画案について

#### (1) 理事会開催

第 1 回：2022 年 5 月 6 日（金）19 時～（オンライン会議にて終了）

第 2 回：主に三愛賞候補者の推挙と決定に特化する形で、基本的に書面会議での開催をすることといたしたい。その他、次年度までに決議必要な議案が発生した場合は追加することといたしたい。

#### (2) 第 19 回代議員会開催

日時：2022 年 6 月 3 日（金）19 時～（オンライン会議）

第 17・18 回が COVID-19 拡大防止のため書面開催予定だったが出来なかったため第 17・18・19 回を合同で書面会議とオンラインでの意見交換会を検討中。

#### (3) 同窓会誌「三愛第 52 号」の作製（Web 配信およびダイジェスト版発行）

- ・編集長：内田 玲麻 先生（42 期）に依頼済み。
- ・ダイジェスト版：卒業生や終身会費納入案内に有用であるため本年度も発行を予定
- ・編集作業について：昨年はレイアウトのみではなく原稿の受付、催促等の連絡作業などについて北海道リハビリ社に委託し、編集長ならびに編集に携わる者の作業負担の軽減を行うことができたため、本年も同様の対応としたい。

#### (4) 三愛賞・同窓生の部（第 17 号）授賞式の開催

植田 啓一 氏（27 期：沖縄美ら海財団総合研究センター動物研究室 室長）

##### ・選考理由

植田氏は、1996 年に酪農学園大学獣医学科を卒業され、沖縄海洋生物飼育技術センターに就職され、2002 年から沖縄美ら海水族館に勤務し、2013 年に博士・獣医学を取得されました。その間、一貫してイルカ健康管理に関する調査研究とその実践的な応用について尽力されました。特に尾ひれを失くしたイルカの「ふじ」における人口尾びれのプロジェクトは、大きな話題となり、ドラマ、映画にも取り上げられ、酪農学園大学の名前も大きく取り上げられました。植田氏のこれらの貢献は、酪農学園大学獣医学科卒業生として誇るべき活動であり、三愛賞を授与するに値するものとして推挙する。

##### ・授賞式日程（案）

日時：2022 年 10 月 7 日（金）13 時～ \*例年本学保護者懇談会の前日に設定

場所：未定（COVID-19 蔓延状況を見ながら開催方法を含め検討）

参集者：酪農学園獣医同窓会役員、顧問、その他

##### ・記念公演の延期について

昨年度に引き続き COVID-19 感染拡大予防の観点より授賞式会場としてきた学内中央館学生ホールの使用制限、使用人数規制など学生の動員にも制限を受けている。よって、記念講演は延期とし、三愛賞授与のみ前述の日程にて行うことを提案する。動画配信も可能であることから、HP から視聴可能となるよう検討いたしたい。来年以降、記念講演もしくはそれに変わる方法で主には現役学生を中心に講演をいただく方法を検討したいと考えている。また、獣医学関係者のみではなく、学群(特に看護学類)へも案内や周知することといたしたい。

#### (5) 三愛賞・卒業生の部（第 15 号）

2021 年度は検討の結果該当者無しであった。学生へ賞の存在についての説明などが必要との意見があり、本年度より獣医学類内に学生委員会が発足するため、その場でも賞の説明などをしていくことといたしたい。

## (6) 三愛賞・同窓生の部（第18号）、三愛賞・卒業生の部（第15号）、特別三愛賞（第11号）

## A. 選考委員会構成員の選定

昨年度は、南 繁（会長）、中出 哲也（副会長：伴侶動物関係者）、廣田 和久（副会長）、石島 力（公務員関係者）、加藤 敏英（生産動物関係者）で構成されていた。理事会において、今年度の選考委員については、会長、副会長に加えて公務員、生産動物、伴侶動物分野の3分野の職域者で行うことが確認され、構成員の選出は理事から優先すべきであり、できる限り現役職の人に選考員を担ってもらうことが必要との意見が出された。理事に該当者がいない場合には理事以外の同窓生も含めて構成員を設定することとしたい。最終的な構成員の選定は会長ならびに副会長に一任することによりよろしいか審議願いたい。

## (7) 支部同窓会および記念同期会の開催に係わる助成

- ・支部同窓会へは都度申請されたものに関し助成

- ・記念同期会：

本年度記念卒期 6期50周年、24期30周年、34期20周年、44期10周年

→上記以外の延期になっている卒業期も含め助成を行う。

（2022年5月26日現在、延期されていた4期50周年同期会の助成申請あり）

## (8) 同窓会室の大型モニターの利用法について

同窓会室(学内B1号館獣医学類資料展示室)に設置した65インチ台の大型モニターの導入を行い、簡易メディアプレーヤーによる画像ファイルの上映準備がほぼ可能となっている。ただし、放映資料の検討やセキュリティーなどについて課題があったため同窓生会館2Fの資料室への移設などを含めた検討が提案され、同窓生会館担当者からは了承を得ている。また、展示方法や利用方法についてのアイデアは引き続き募集していることからご意見ご提案をいただきたい。

## 3. 2022年度収支予算案について（別資料④）

本年度事業計画および昨年度実績を基に作成した。

## 4. その他

## (1) 50周年記念誌の配布について

理事会において、50周年記念誌については、同窓生全員(会費未納者含む)に配布したいとの提案が会長よりなされた。また、理事からもこれまでの色々な同窓会の歴史を紹介する意味でも全員への配布に賛成であると意見が出された。この取りすすめでよろしいか審議願いたい。

## (2) 代議員について

理事会において、代議員について ZOOM などネット対応可能な人への交代を促したいとの提案が会長よりなされた。理事からは、オンラインと書面のハイブリッド開催など間口は広く取る必要性を検討すべきとの意見があった。また、COVID-19 が鎮静化し、対面会議が可能となった場合は少人数であっても対面で実施すべきとの意見も出された。本件について、その開催方法について審議願いたい。

## (3) 今後の入学生獲得や学生の学力モチベーションについての協力

会長より、今後の大学存続に関わる入学生獲得について何か協力できることがないかとの提案が求められた。本件について、学生委員会を通じた学生からの意見も求めてはいかかが、との意見が出された。また、獣医学類との関係性を築くためには、学類長の了解を得た上で本件を進めるべきであることが確認され、会長から学類長へ提案する形で本年度発足する学生委員会でも意見聴取などを行っていききたいとの意見も出された。取りすすめについてご提案があれば伺いたい。

以上